

川崎市 こども未来局懇談会 報告

開催日時 : 2019年6月12日(水) 10:30~12:00

開催会場 : 川崎市役所第2庁舎 13階 会議室

出席者 : エンジェルキッズ・チャイルドタイム・等々力保育園・原保育園・鷺沼なかよし保育園
(敬称略) ベビーチャイルドランド・ちびっこハウス・太陽の子・カスタッチこどもclub
局長 袖山・部長 柴田・課長 星・課長 川戸・係長 中山・保育課 宮崎
(新任:柴田部長・中山係長 ※川戸課長:待機児童対策担当)

2019年度総会において決議した要望事項について、こども未来局と懇談会を開催。要望4項目については収支に関連しているため一括して懇談。

尚、要望理由などの詳細につきましては、協議会ホームページに掲載しています。

〈 要 望 〉

要望1. 川崎認定保育園A型30名以下の基本助成費に一律化

要望2. 土曜日における給食の制度改定

要望3. 川崎認定保育園入園決定児童の認可保育所移籍についての要望

要望4. 各区役所における窓口案内についての要望

協議会からの実態・意見 ※ () 内の番号は上記の要望1~4

- ・0歳児受入のためには保育士を維持・確保をしなくてはならず、保育士不足による人件費の高騰、育児休暇制度の充実により保育児童の減少(0歳児が極端に少ない)経営意を圧迫している(1)
- ・定員を10人以上割っているので経営が厳しい(1)
- ・認定は認可が受け入れない0歳児を受入れるなど、認可と同一のルールで縛るには間違っている(2)
- ・新年度初日、入園契約を結んだ新入園時が登園しないため区に確認、区役所から安否確認を要請され、自宅に訪問、保護者から認可保育所に入所した旨を強い口調でいわれた。
川崎認定保育園入園決定児童の認可保育所移籍への配慮がほしい(3)

- ・ 毎週金曜日に空き情報及び新入園児の名簿を送付しているが、認可に空きができた時点で名簿に載っている児童を引き抜く。
名簿を送る必要があるのか。また引き抜きがわかっているなら他の児童を入園させていた。時期的にはほとんどの児童の行き先が決定後なので、引き抜かれた席は空き状態が続く（3）
- ・ 区の調査が名刺交換で終了している。区は認定の情報を得ていないので、保育施設利用者に対しては認可ありきで説明している。
保育料補助金制度により保育料格差が減少しているため、区は認可・認定を分けるのではなく、利用者側が求める条件にあった施設を紹介するべき（4）

無償化

(川崎市よりメール配信 6/13)

特定子ども・子育て支援施設の確認（子ども・子育て支援法第58条の2）

- ・ 特定子ども・子育て支援施設の確認申請を川崎市に提出することで無償化対象施設となります。

スケジュール

- ・ 6月中に各施設に確認申請書類が送付されます。
- ・ 7月末までに川崎市に確認申請書類を提出。
- ・ 9月中に川崎市のホームページに 無償化対象施設 として掲載。

無償化に関する説明会（日程等は後日、案内あり）

- ・ 7月 : 無償化の概要と子どもの認定について
- ・ 9月 : 10月以降の請求方法について

支払方法＝検討中

検討している案

1. 保護者には無償化分 37千円 を差し引きした保育料を納入してもらう。
2. 差し引いた無償化分を川崎市が各施設に支払う。

※ 協議会では「差し引いた無償化分を川崎市が各施設に支払う」時期が事後の場合、経営に大きく影響するため、事前に支払うように申し伝えています。